

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東
 コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚野 哲幸
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長(広報・IR担当) (氏名) 渡辺 勝俊 (TEL) 045-787-8401
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)
 (百万円未満切捨)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,363	26.2	792	—	1,475	287.7	1,216	459.7
2023年3月期第2四半期	28,825	8.2	△295	—	380	△18.7	217	△14.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,034百万円(19.2%) 2023年3月期第2四半期 3,384百万円(135.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	126.98	—
2023年3月期第2四半期	22.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	67,040	34,504	49.9	3,490.69
2023年3月期	61,639	30,669	48.0	3,085.65

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 33,449百万円 2023年3月期 29,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭(創業100周年記念配当)

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	11.3	2,000	232.8	1,800	33.5	1,200	128.9	125.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	10,200,000株	2023年3月期	10,200,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	617,555株	2023年3月期	617,555株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	9,582,445株	2023年3月期2Q	9,571,200株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する説明	2
（2）連結財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	10
（セグメント情報等）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、国内景気の穏やかな回復、米国経済の堅調な推移が見取れるものの、一方でインフレの高止まりや金利高への警戒感、加えて中国経済の失速懸念など、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、半導体供給不足による減産や生産調整に回復の兆しが表れてきているものの、中国市場においては局面の変化に伴う日系顧客での販売不振・減産の影響が進行しております。セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅産業におきましては、新築住宅着工戸数は資材高騰の影響等により、戸建ての注文住宅・分譲住宅は減少、その他の賃貸住宅・マンションは前年度とほぼ同水準に推移しております。

このような事業環境の中、当社グループは引き続き手許資金の流動性を確保しつつ、生産性の向上や経費削減等、変動費・固定費管理の徹底を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は36,363百万円と前年同四半期に比べ、7,538百万円（26.2%）の増収となりました。利益につきましては、それぞれ営業利益は792百万円と前年同四半期に比べ、1,088百万円の増益（前年同四半期は295百万円の営業損失）、経常利益は1,475百万円と前年同四半期に比べ、1,094百万円（287.7%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,216百万円と前年同四半期に比べ、999百万円（459.7%）の増益となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業(日本)

自動車部品事業(日本)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加などにより、売上高は4,916百万円と前年同四半期に比べ、724百万円（17.3%）の増収となりました。増収効果や合理化活動の進展などにより、セグメント利益は136百万円(前年同四半期はセグメント損失114百万円)となりました。

② 自動車部品事業(北米)

自動車部品事業(北米)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加に加えて、為替換算の影響等から、売上高は8,013百万円と前年同四半期に比べ、2,333百万円（41.1%）の増収となりました。一方、一過性の生産ロスや一部合理化の遅れなどがあり、セグメント利益は9百万円(前年同四半期はセグメント損失369百万円)となりました。

③ 自動車部品事業(アジア)

自動車部品事業(アジア)におきましては、ASEANで売上増となったものの、中国での日系車の販売不振・減産影響を大きく受け続けており、売上高は8,189百万円と前年同四半期に比べ、82百万円（1.0%）の増収に留まりました。固定費管理や経費削減の徹底を図ったものの中国での減収影響が大きく、セグメント損失は486百万円(前年同四半期はセグメント損失215百万円)となりました。

④ 自動車部品事業(欧州)

自動車部品事業(欧州)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加に加えて、為替換算の影響等から、売上高は8,021百万円と前年同四半期に比べ、2,520百万円（45.8%）の増収となりました。増収効果や合理化活動の進展などにより、セグメント利益は13百万円(前年同四半期はセグメント損失191百万円)となりました。

⑤ セキュリティ機器事業(日本)

セキュリティ機器事業(日本)におきましては、建築資材の高騰を背景とした新築住宅着工減少の影響を受けているものの、大手賃貸住宅事業会社のプロジェクトによる受注が有り、住宅関連製品の売上は前年同期を上回りました。

ロッカーシステム事業については、引き続き国内観光需要の回復によるレジャー・観光客の増加、猛暑によるプール来場客の増加で、コインロッカーのオペレーション収入は堅調な回復となりました。更に物販についてはホテル向けセルフクロックロッカーが好調に推移しました。

なお、売上高は7,635百万円と前年同四半期に比べ、1,758百万円(29.9%)の増収、セグメント利益は1,032百万円と前年同四半期に比べ、229百万円(28.6%)の増益となりました。

⑥ セキュリティ機器事業(海外)

セキュリティ機器事業(海外)におきましては、日本向け製品(電気錠)の生産増及びタイ国内の樹脂成形部品の受注増により、売上高は6,028百万円と前年同四半期に比べ、2,567百万円(74.2%)の増収、セグメント利益は582百万円と前年同四半期に比べ、337百万円(138.0%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は67,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5,400百万円の増加となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、4百万円減少し、17,833百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が1,208百万円増加したことや、受取手形及び売掛金が1,743百万円増加したこと等により、3,654百万円増加し、39,026百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物が376百万円増加したことや、投資有価証券が600百万円増加したこと等により、1,748百万円増加し、28,011百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が513百万円増加したことや、短期借入金が1,130百万円増加したこと等により、2,573百万円増加し、23,650百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が769百万円減少したこと等により、1,008百万円減少し、8,886百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が2,340百万円増加したことや、利益剰余金が1,025百万円増加したこと等により、3,835百万円増加し、34,504百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の48.0%から1.9ポイント増加し、49.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ1,170百万円増加し、8,044百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3,061百万円の収入(前年同四半期と比べて1,879百万円収入が増加)となりました。主な収入要因は、減価償却費であり、主な支出要因は、売上債権の増加額です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,258百万円の支出(前年同四半期と比べて297百万円支出が減少)となりました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは657百万円の支出(前年同四半期は692百万円の収入)となりました。主な支出要因は、長期借入金の返済による支出です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高70,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益1,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,200百万円を見込んでおります。なお、為替レート的前提につきましては、1 US \$ = 130円、1 ユーロ = 135円としております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,946	8,154
受取手形及び売掛金	14,136	15,880
電子記録債権	1,225	1,204
商品及び製品	2,375	2,578
仕掛品	1,353	1,365
原材料及び貯蔵品	6,739	6,922
その他	2,668	3,017
貸倒引当金	△73	△97
流動資産合計	35,371	39,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,993	5,369
機械装置及び運搬具（純額）	7,696	7,778
工具、器具及び備品（純額）	2,247	2,240
土地	1,730	1,826
その他（純額）	2,740	3,205
有形固定資産合計	19,408	20,419
無形固定資産		
のれん	1,110	1,055
その他	1,750	1,815
無形固定資産合計	2,860	2,870
投資その他の資産		
投資有価証券	3,257	3,858
その他	855	987
貸倒引当金	△119	△124
投資その他の資産合計	3,993	4,720
固定資産合計	26,262	28,011
繰延資産	5	3
資産合計	61,639	67,040
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,355	7,869
短期借入金	8,442	9,573
未払法人税等	556	728
賞与引当金	450	676
製品保証引当金	336	337
その他	3,935	4,465
流動負債合計	21,076	23,650
固定負債		
社債	165	30
長期借入金	7,137	6,367
退職給付に係る負債	235	238
資産除去債務	42	42
リース債務	1,248	1,066
その他	1,065	1,140
固定負債合計	9,894	8,886
負債合計	30,970	32,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,962	2,962
利益剰余金	18,484	19,509
自己株式	△551	△551
株主資本合計	23,654	24,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,655	2,171
為替換算調整勘定	4,258	6,598
その他の包括利益累計額合計	5,913	8,769
非支配株主持分	1,101	1,055
純資産合計	30,669	34,504
負債純資産合計	61,639	67,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	28,825	36,363
売上原価	25,139	31,230
売上総利益	3,685	5,132
販売費及び一般管理費	3,980	4,339
営業利益又は営業損失(△)	△295	792
営業外収益		
受取利息	13	33
受取配当金	54	47
為替差益	677	730
不動産賃貸料	11	12
助成金収入	35	17
その他	56	23
営業外収益合計	848	864
営業外費用		
支払利息	85	141
その他	87	40
営業外費用合計	172	182
経常利益	380	1,475
特別利益		
固定資産売却益	5	4
特別利益合計	5	4
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	2	3
特別損失合計	10	4
税金等調整前四半期純利益	375	1,475
法人税、住民税及び事業税	266	467
法人税等調整額	△68	△118
法人税等合計	197	348
四半期純利益	177	1,126
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△39	△90
親会社株主に帰属する四半期純利益	217	1,216

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	177	1,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△199	515
為替換算調整勘定	3,406	2,391
その他の包括利益合計	3,206	2,907
四半期包括利益	3,384	4,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,278	4,072
非支配株主に係る四半期包括利益	106	△38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	375	1,475
減価償却費	1,759	1,659
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62	217
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7	△15
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△3	△1
受取利息及び受取配当金	△67	△80
支払利息	85	141
助成金収入	△35	△17
固定資産売却損益 (△は益)	1	△3
固定資産除却損	2	3
売上債権の増減額 (△は増加)	440	△695
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,162	467
仕入債務の増減額 (△は減少)	△211	△304
長期未払金の増減額 (△は減少)	△16	△15
その他	233	610
小計	1,458	3,440
利息及び配当金の受取額	67	80
利息の支払額	△83	△138
助成金の受取額	35	17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△296	△338
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,181	3,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△0
定期預金の払戻による収入	-	135
有形固定資産の取得による支出	△1,578	△1,501
有形固定資産の売却による収入	47	135
無形固定資産の取得による支出	△19	△25
投資有価証券の取得による支出	△12	△13
その他	8	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,556	△1,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	574	984
長期借入れによる収入	2,550	900
長期借入金の返済による支出	△1,775	△1,876
社債の発行による収入	50	-
社債の償還による支出	△155	△145
リース債務の返済による支出	△345	△317
配当金の支払額	△191	△191
非支配株主への配当金の支払額	△15	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	692	△657
現金及び現金同等物に係る換算差額	209	184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	527	1,329
現金及び現金同等物の期首残高	6,345	6,714
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,873	8,044

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	3,141	5,646	7,838	5,377	5,827	956	28,787	—	28,787
その他の収益	—	—	—	—	37	—	37	—	37
外部顧客への 売上高	3,141	5,646	7,838	5,377	5,865	956	28,825	—	28,825
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,050	33	269	123	10	2,503	3,991	△3,991	—
計	4,192	5,679	8,107	5,501	5,876	3,460	32,817	△3,991	28,825
セグメント利益 又は損失(△)	△114	△369	△215	△191	802	244	156	△451	△295

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△407百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	3,778	7,983	7,532	7,896	7,584	1,558	36,333	—	36,333
その他の収益	—	—	—	—	30	—	30	—	30
外部顧客への 売上高	3,778	7,983	7,532	7,896	7,614	1,558	36,363	—	36,363
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,137	30	657	125	20	4,469	6,440	△6,440	—
計	4,916	8,013	8,189	8,021	7,635	6,028	42,804	△6,440	36,363
セグメント利益 又は損失(△)	136	9	△486	13	1,032	582	1,288	△495	792

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△521百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。